高松信用金庫の環境への取組みについて

【「香の川」清掃活動】

高松信用金庫は、平成１５年１１月より、地域環境貢献活動の一環として、官民提携事業であるリフレッシュ「香の川」パートナーシップ事業に参加しています。

リフレッシュ「香の川」パートナーシップ事業とは、香川県が平成１３年、リフレッシュ「香の川」パートナーシップとして提唱したもので、「きれいな川、みんなが遊べる川」にしようという願いが込められています。

当金庫の活動としましては、年に３回（うち１回は信用金庫の日に実施）、地域貢献活動の一環として役職員による香東川（高松市）、及び土器川（丸亀市）の河川敷の清掃活動を実施しています。

【クールビズ、ウォームビズ及び通年ノーネクタイの実施】

地球温暖化防止に向けた取組みとして、クールビズは平成２０年６月から開始し、ウォームビズを平成２０年１２月から実施しています。クールビズ（５月から１０月）は、冷房の設定温度を２８度とし、上着、ネクタイ等を着用しないなど軽装を励行、ウォームビズ（１２月から３月）は、暖房の設定温度を２０度にしています。（ただし、各営業店ロビーにつきましては、天候やお客様の状況等により、適宜室温調整をおこなっています。）

また、役職員の働きやすい職場環境づくりを目的として、令和３年３月から通年ノーネクタイでの就業を可能としています。（ただし、ネクタイ着用を禁止するものではなく、希望や場面に応じての着用は認めています。）

【環境に配慮した店舗づくり】

環境対策の一環として、平成２１年１１月より、ＬＥＤ照明等省エネ設備の導入を進めるほか、平成２２年９月には、本店ビル屋上の緑化活動など、環境負荷の削減に積極的に取り組んでいます。